

中核人材育成塾を開講 = 岐阜高専 =

岐阜高専は、10月14日に同校の地域技術開発・教育センターものづくりデザイン・セミナールームにおいて、岐阜県の委託事業「ものづくり技能振興事業・中核人材育成塾」を開講した。

中核人材育成塾は、中小企業でのものづくり現場リーダーとして、人の配置等を含む生産の管理、合理化、監督業務を担当できる中核人材の育成を目的とした研修で、ものづくりについての豊富な経験や知識を有する岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が講師を務める。

研修は、「見える管理で理想の工場づくり」、「実践QC7つ道具」、「現場管理者のためのコストダウン活動」、「リーダーのための経理知識」の4テーマで来年1月まで毎月1回開講される。

参加者は、募集定員20社（20名）を大幅に超える30社から申し込みがあり、第1回目の「見える管理で理想の工場づくり」には聴講生も含めて37名が受講した。

